

茨城県立結城養護学校 (学校長 前島 つや子)

実施日	平成20年2月8日(金)	時間	午前10時50分～午前11時50分
実施場所	プレハブ棟集会室	対象/人数	中学部24名
担当教諭	堀越 恵美子	ファシリテーター	木村 直子
講師	ジョナサン・マイケルズ(アメリカ 県国際交流員)		

活動内容

- ・英語で 歓迎のあいさつ、自己紹介
- ・アメリカの衣食住・教育・遊び
- ・日本とアメリカの違い
- ・ゲーム・質問
- ・お礼の発表 英語の絵本「Brown Bear, Brown Bear, What do you see?」の暗唱、英語のダンス「Hokey Pokey」

生徒の感想

・ワールドキャラバンでアメリカ人のジョナサン・マイケルズさんが来ました。アメリカのダンスやジャンケンのやり方を教えてくださいました。ダンスでは、パートナーを選んで英語のかけ声にあわせて回ったり、パートナーにあいさつにしたりしました。みんなと一緒に踊れて嬉しかったです。ジャンケンはちょっと難しかったけど、覚えたのでまたみんなとやりたいです。アメリカの習慣や文化を少しだけ知ることができ、とてもよい経験になりました。今度は、私の住んでいる日本のことについてももっと知って、外国の人に教えてあげたいと思いました。

先生の感想

・ワールドキャラバンを実施するに当たって、総合的な学習の時間では、国際理解教育の中の英語の授業を行ってきた。世界の国について調べたり、英語の歌やダンス、簡単な表現などを学習したりしてきた。事前の学習をしてきたことで、英語や外国の人に対して興味・関心をもち、ワールドキャラバンでも講師の先生の話に興味深く聞いている様子が見られた。講師の先生は、日本語が堪能で楽しくアメリカの文化を話してくれたり、写真を見せてくれたりしたので、生徒も大変よく話を聞き、積極的に質問などもしていた。最後にダンスを教えてくれて、一緒に踊ることができた。また、コーディネーターの方が色々な面で細かく配慮して頂いたおかげでスムーズに進むことができた。生徒にとっても思い出に残る行事となった。

成果と課題

・ほとんどの生徒が英語や外国の文化に興味を持ち、英語の学習や調べ学習に楽しく取り組んでいる姿が見られた。ワールドキャラバンでは、全員が講師の先生に英語で自己紹介をし、握手をすることによって、より身近に感じる事ができた。中には、初めて外国の人に接する生徒もいて、とても喜んでいて。その後生徒たちは、積極的に講師の先生に話しかけたり、質問をしたりしていた。また、ダンスを取り入れてくれたことで、体を動かしながら楽しく活動ができた。外国の方に触れあい、話を聞くことができたことで、外国や英語に対する興味がさらに広がった。

・今回限りの実施ではなく、継続して色々な国の人に触れあり、外国の事を知ることができるような機会を重ね、養護学校での国際理解教育を実践していきたいと思う。